

- ③ 会 場 助県婦人会館
- ④ 参 加 者 50歳未満の婦人団体会員49名
- ⑤ 内容及び方法
 - ア 講 演
 - (ア) 地域活動を推進するために
講師 福島大学名誉教授 堀 口 知 明
 - イ 講義と実技
 - (ア) 情報化時代にそなえて—— 広報紙の作成と利用
講師 福島民友新聞社整理部長 大 和 力
 - (イ) 明るく健康であるために
講師 元福島県婦人教育指導員 遠 藤 よね子
 - ウ 討 議 (バズセッションによる)
 - (ア) 豊かな地域づくりを考える。
 - (イ) リーダーとしての資質をさぐる。
指導 福島市社会教育指導員 関 ウ タ

- ③ 参 加 者 ユネスコ活動関係者、社会教育関係者、
ユネスコ活動に理解と関心のある者
116名

(3) 内 容

- ① 主 題 「ユネスコ活動の充実と組織拡充のあり方」
- ② 講 演 「ユネスコ活動のめざす国際協力」
講 師 日本ユネスコ協会連盟組織部長 石 神 澄 子
- ③ 研究協議
 - ア 分散会……3分散会
 - (ア) 協議事項
 - ㊦ ユネスコ活動のあり方
 - ㊧ ユネスコ協会組織拡充のあり方
 - (イ) 助 言 者
 - ㊦ 第1分散会 (ユネスコ活動関係者)
 - いわきユネスコ協会会長 赤 津 千 町
 - 会津ユネスコ協会副会長 周 東 一 也
 - ㊧ 第2分散会 (社会教育関係者)
 - いわきユネスコ協会副会長 大 谷 健
 - 郡山ユネスコ協会会長 佐 藤 信
 - ㊨ 第3分散会 (学校教育関係者)
 - 福島ユネスコ協会青少年委員長 松 井 和 夫
 - 福島ユネスコ協会事務局 関 ウ タ
 - イ 実践発表
 - 福島県立湯本高等学校 松 本 清 幸
 - 会津ユネスコ協会 石 田 サダ子

第4節 ユネスコ活動

1 概 要

ユネスコは、教育・科学・文化の交流や協力を通して、国際平和と人類の福祉に貢献することを目的としているが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律においても、教育委員会の任務として「ユネスコに関すること」として明示されている。そのため、教育委員会は、ユネスコ精神の普及啓発と民間ユネスコ協会の育成及び指導者の養成に努めている。

2 ユネスコ協会の設立状況

協会名	会長名	事務局	事務局長	設 年 月 日
須賀川地方 ユネスコ協会	小松 義郎	須賀川市社会教育課 須賀川市八幡町135	西間木正之	46. 9. 13
いわき ユネスコ協会	赤津 千町	いわき市社会教育課 いわき市平梅本21	田岡友治郎	51. 9. 13
郡 山 ユネスコ協会	佐藤 信	朝日生命郡山支社 郡山市清水台1丁目1- 26	押川 敏臣	53. 1. 24
白 河 ユネスコ協会	深谷 健	白河市社会教育課 白河市八幡小路7-1	大高 盈男	53. 11. 19
福 島 ユネスコ協会	折笠与四郎	福島市中央公民館 福島市松木町1-7	大越源三郎	55. 7. 19
会 津 ユネスコ協会	星野俊八郎	会津若松市社会教育課 会津若松市栄町5-20	石田サグ子	55. 11. 16
福島県ユネスコ 連絡協議会	折笠与四郎	福島県教育庁社会教育課 福島市杉妻町2-16	大越源三郎	56. 12. 4

3 ユネスコ活動指導者研究協議会

- (1) 趣 旨
 - ユネスコ活動指導者の育成とユネスコ活動を促進するため、県ユネスコ連絡協議会へユネスコ活動指導者研究協議会の事業並びに運営を委託し、その成果の波及効果を図る。
- (2) 期日・会場
 - ① 期 日 昭和160年 8月28日(水)
 - ② 会 場 田島町中央公民館 田島町体育館

4 国際交流活動研修会

- (1) 趣 旨
 - 教育・科学・文化の分野における国際交流活動の意義を広く県民に普及・浸透させるとともに、国際交流活動を振興するうえで大きな役割を果たす指導者の育成に資する。
- (2) 期日・会場・参加者
 - ① 期 日 昭和60年11月26日(火)～27日(水)
 - ② 会 場 喜多方プラザ
 - ③ 参 加 者 社会教育関係者、学校教育関係者、国際交流事業関係者
134名
- (3) 内 容
 - ① 主 題 「国際理解・国際交流活動をどのように進めたらよいか」
 - ② 講 演 「国際交流のあり方」
——世界の中の日本——
講 師 郡山ユネスコ協会会長 佐 藤 信
 - ③ シンポジウム・フォーラム
「国際理解・国際交流の進め方を考える」
——外国人から見た日本——
講 師 日本キリスト教団会津 アーミン・H・ク
地区協力宣教師 レーラー
会津若松ザベリオ学園長 シルビア・デュブイ
主 婦 メリー・ヘレン・斎藤
主 婦 メリア・梅津